

令和5年第4回北海道議会定例会 追加質疑 開催状況
(経済部経済企画局経済企画課)

開催年月日 令和5年12月5日

質問者 日本共産党 真下 紀子 議員

答弁者 知事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 物価高騰等対策特別支援事業費について</p> <p>(一) 事業内容について</p> <p>食料費等の物価高騰の影響を受けている子育て世帯への支援としてお米券・牛乳贈答券を前回の8000円から5000円に減額して配布する事業についてです。申請しない方もいらっしゃいますが、この事業は87%の執行率にとどまっております。プッシュ方式にして対象者すべてに配布できる事業になぜしなかったのか、またなぜ、お米と牛乳という前回同様の商品券としたのか、お考えを伺います。</p> <p>同じスキームでの事業設定となり、事務手数料の軽減が可能と考えますが、どのように縮減が図られるのか伺います。</p> <p>(二) レシートキャンペーンについて</p> <p>前回はレシートキャンペーンが、実施されていましたが、広報が全くわかりにくい上、多くの対象者に周知が行き届かずキャンペーンとはほど遠いものとなりました。キャンペーンの応募数・応募率を伺うとともに、この度は改善をはかった上で実施するのか伺います。</p>	<p>(知 事)</p> <p>物価高騰等対策特別支援事業についてであります。プッシュ方式については、前回の支給から一定の時間が経過したことから、要件を満たすか否かの確認が必要であり、今回も申請方式により実施することとしたが、道としては、前回支給済の世帯に対し、申請サイトのアドレスをメール等により個別に通知の上、過去の申請内容をもとに、簡易申請できる仕組みとする考えであり、これにより、審査期間の短縮や広報費用の縮減など、事務費の軽減を図るものであります。</p> <p>また、支給品については、長引く物価高騰に伴い、生活に欠かせない品目である米や牛乳の価格も上昇傾向となっている中、その影響を大きく受ける子育て世帯に対し、前回同様、商品券等としてお届けするとともに、併せて道産品の消費拡大にもつなげることを狙いとして実施するものでございます。</p> <p>(知 事)</p> <p>レシートキャンペーンについてであります。このキャンペーンは、物価高騰等対策特別支援事業で支給された商品券等を利用し北海道産のお米又は牛乳を購入された方を対象として、購入時のレシートを撮影して応募することにより、道産品のカタログギフトをプレゼントするものであり、本年12月末までを申込期限としているが、現在の応募数は1万4,804件で、支給済世帯に対し、約4.5パーセントの応募率となっております。</p> <p>道といたしましては、物価高騰等対策特別支援事業の趣旨が一定程度浸透し、相当額の事務費も要することから、今後のキャンペーンの実施は予定しておりません。</p>

